

## 〈第22回環境システム計測制御学会 (EICA) 研究発表会〉

## 開 催 挨 拶

環境システム計測制御学会 会長 田 中 宏 明

EICA は 1990 年に発足以来、20 年が経ちました。この記念すべき年に、EICA 事務局のある滋賀県の地元草津市の立命館大学びわこ・くさつキャンパスで本研究発表会を開催でき、本当にうれしく思っております。

この研究発表会開催に当たっては、EICA 副会長を務めていただいた武田信生先生はじめ、多くの立命館大学の皆様方に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。

現在、地球温暖化対策と気候変動への対応が、世界的な課題となっています。温室効果ガスの削減には、革新的な技術の開発とともに、EICA の関係者の皆さんがこれまでも築き上げてきた計測制御技術を利用し、着実な効果を挙げることが期待できます。またこれまで我が国が作り上げてきた環境保全の精度や技術は、著しい都市化と人口増加や経済発展がすすむ新興国の都市部で必ずや活用されるとおもいます。我が国の環境分野の内需は、停滞気味ではありますが、経済成長を牽引すると期待される海外での環境ビジネスについても、EICA として関心を持っていきたいとおもいます。

さて、このあと、立命館大学の島田先生に低炭素社会システム構築のための道筋について基調講演いただいた後、琵琶湖環境科学研究センター長の内藤正明先生にアンカーをお願いし、パネルディスカッションを行っていただきます。またさらに、前 琵琶湖博物館



長の川那部浩也先生に、名古屋で開かれている COP10 のテーマであります「生物多様性」を特別講演いただきます。この2日間、活発な議論をいただき、様々な角度から今後の我々の生活の在り方、環境への取り組みをお考えいただけると幸いです。

副会長の早稲田さんを中心として EICA20 周年行事として、4つのイベントを行っております。

ロゴマークの制定、20 周年記念講演会、EICA20 年の歩みの刊行、流域管理における計測自動制御技術調査専門員会による調査事業です。本研究会において後ほどロゴが発表されます。

以上簡単ではありますが、開会のご挨拶とさせていただきます。